（別紙）

受給資格認定申請者一覧

学校名	

通し番号	生徒氏名	生年月日	課程	授業料額（月額）	授業料減免額（月額）	支給額（月額）	残支給期間（月数）	備　考
計	名					円		

（注）
1　「通し番号」の欄は，各学校ごとに記入すること。
2　「生徒氏名」の欄は，姓名の間を１文字分空けること。
3　「課程」の欄は，全日制，定時制，通信制の別を記入すること。
4　「授業料額(月額）」の欄は，該当する課程の授業料額を月額で記入すること。（1円未満の端数が出た場合には切り捨てるものとする。）
5　「授業料減免額（月額）」の欄は，学校設置者による授業料減免額（授業料の減免額が年額などの方法により定められている場合には，授業料減免額の総額を減免に係る期間の月数で除した額をいう。）を記入すること。（1円未満の端数が出た場合には切り捨てるものとする。）
（例：授業料減免額（年額）が31,000円の場合，授業料減免額（月額）は2,583円となる。）
6　「残支給期間（月数）」の欄は，36月（定時制・通信制の場合は48月）からこれまでの在学期間を除いた期間を月数で記入すること。

附　則

この省令は、平成二十五年四月一日から施行する。

（別紙）

受給資格認定申請者一覧（1単位あたりの授業料を徴収する場合）

学校名	

通し番号	生徒氏名	生年月日	課程	1単位あたり授業料額	履修期間	履修単位数	授業料額（月額）【a】	授業料減免額（月額）【b】	授業料実額（月額）【A（＝a-b）】	支給限度額【B】	支給額【C】	残支給期　間（月数）	支給開始年月	残支給単　位	備　考
計	名										円				

（注）
1　「通し番号」の欄は，各学校ごとに記入すること。
2　「生徒氏名」の欄は，姓名の間を１文字分空けること。
3　「課程」の欄は，全日制，定時制，通信制の別を記入すること。
4　「授業料額(月額）【a】」の欄は，「1単位あたり授業料額」，「履修期間」，「履修単位数」の欄に記入した値によって計算し、その計算方法は，[1単位あたり授業料額÷履修期間×履修単位数]となる。
5　「授業料減免額（月額）【b】」とは，学校設置者による授業料減免額（授業料の減免額が年額などの方法により定められている場合には，授業料減免額の総額を減免に係る期間の月数で除した額）をいう。
6　「授業料実額（月額）【A】」の欄は，「授業料額（月額）【a】」から学校設置者による「授業料減免額（月額）【b】」を引いた額を記入すること。
7　「支給限度額【B】」の欄は，次の計算方法によって算出すること。支給限度額＝4,812円÷履修期間×履修単位数
ただし，履修単位数は，年間支給対象単位数の上限（30単位）及び在学期間中の支給対象単位数の上限（74単位）を超えない単位数で計算すること。
8　「支給額【C】」の欄は，「支給限度額【B】」と「授業料実額（月額）【A】」を比較し，いずれか低い方の額となる。
9　「残支給期間（月数）」は，36月（定時制・通信制の場合は48月）からこれまでの在学期間を除いた残りの支給期間を月数で記入すること。
10　「授業料額（月額）【a】」，「授業料減免額（月額）【b】」，「支給限度額【B】」については，1円未満の端数が出た場合には切り捨てるものとする。